



お お と り ち ゅ う が っ こ う だ よ

大鳥中学校便り

だ い ろ く ご う
第六号

学校教育目標 ～豊かな心を育み、社会とのかかわりを大切に～

〇感じる心(徳) 〇考える力(知・体) 〇行動する鳥中生(公・関)

よこはましりつ おおとりちゅうがっこう
横浜市立大鳥中学校こうちょう しんじょう ひろし
校長 新庄 広ほんもくち い き みなさま
本牧地域の皆様いつもありがとうございます。皆様に見守られながら生徒たちは成長しています！

生徒を大切にします。「本牧学園コミットメント宣言」

なが なつやす お せいと げんき こえ がっこう もど
長い夏休みが終わり、生徒たちの元気な声が学校に戻ってきました。この夏も、本牧神社例大祭をは
じめとする地域行事や部活動、家庭での様々な体験を通して、生徒たちは多くの学びを重ね、大きく成長
することができました。地域や保護者の皆様には、子どもたちを温かく見守り支えていただき、心よ
り感謝申し上げます。

さて、本年度、本牧学園ブロック（大鳥中・本牧中・大鳥小・本牧小・本牧南小・間門小）では、
子どもたちが安心して学校生活を送り、自分らしく成長できる学校づくりをさらに進めるため、「コミ
ットメント宣言」を作成しました。コミットメントとは、「約束」や「決意」を意味します。教職員だ
けでなく、子どもたちや保護者、地域の皆様の思いも大切にしながら、本牧学園として大切にしたい姿
を言葉にしました。

本校では以前から、一人ひとりの違いや
個性を尊重し、誰もが安心して学べる学校づ
くりに取り組んできました。今回の宣言では、
その思いを大切にして「すべての子どもが
安心できる安全な学校づくりに尽力します」
「子どもの心と身体、人権に配慮して適切な
指導をします」「子どもや保護者と連絡をとる
際は、学校で決められた方法で行います」と
いう三つの約束として示しています。

学校は、子どもたちが学力を身に付けるだ
けでなく、安心して過ごし、自分の良さを発揮
しながら成長する場所でなければなりません。
そのためには、学校の努力だけでなく、
家庭や地域との信頼関係が欠かせません。こ
れからも本牧学園の教職員一同、子どもたち
の未来を思い、今ある笑顔を全力で支えてま
いります。引き続き、本校の教育活動へのご
理解とご協力をよろしくお願いいたします。

先生は子どもたちの未来を思い、
今、ある笑顔を全力で支えます。

本牧学園（横浜市立大鳥中学校）の

先生は

学校にかかわる、すべての人が
あんしん・あんぜんに学校にいられるように
みんなで決めたルールを宣言します。

- すべての子どもが安心できる
安全な学校づくりに尽力します！
 - 子どもの心と身体、人権に配慮して
適切な指導をします！
 - 子どもや保護者と連絡をとる際は、
学校で決められた方法で行います。
- ～ 本牧学園の先生は、これを守ります ～



先生は笑顔のために。

ひとりでも偏まない・見て見ぬふりはしない



横浜市教育委員会

はる おこな れいわ ねんど ぜんこくがくりよく がくしゅうじょうきょうちようさ ねんせいたいしやう けっか こうひよう
春に行われた令和8年度の「全国学力・学習状況調査」（3年生対象）の結果が公表されました。
けっか ぶんせき おこな こんご じゅぎょう すす かた い
結果とその分析を行い、今後の授業の進め方に生かしていきます。

こくご ぶんしやう ふか よ と じぶん かんが こんきよ ひやうげん ちから かだい み こんご
＜国語＞文章を深く読み取り、自分の考えを根拠とともに表現する力に課題が見られました。今後は、
よ かつめい ともだち かんが き たいわ きじゆつ じゆうし じゅぎょう すす
読むことと書くことを関連付けながら、対話や記述を重視した授業を進めていきます。

すうがく こんきよ かんが せいり すうがくてき ひやうげん ちから かだい み こんご じぶん かんが
＜数学＞根拠をもとに考えを整理し、数学的に表現する力に課題が見られました。今後は、自分の考
えを説明したり友達の考えを聞いたりする活動を通して、表現力や記述力の向上を図っていきます。

えいご えいさくぶん たいわかつどう せい か み えいご ひやうげんりよく ぜんこくへいきん うわまわ けっか
＜英語＞英作文や対話活動の成果が見られ、英語による表現力は全国平均を上回る結果となりました。
いっぽう えいご き と ちから かいぜん よ ち こんご とりくみ い
一方で、英語を聞き取る力には改善の余地が見られました。今後は、これまでの取組を生かしながら、
じっさい ばんめん いしき き と かつどう じゅうじつ
実際のコミュニケーション場面を意識した聞き取り活動を充実させていきます。

ほんこう けっか しんし う と ひとり まな たいせつ じゅぎょうかいぜん と く
本校では、これらの結果を真摯に受け止め、一人ひとりの学びを大切にしたい授業改善に取り組んでま
いります。とく ぶんしやう よ ちから てきせつ ことば ひやうげん ちから そだ ひつよう がくりよく
います。特に文章を読む力と、適切な言葉で表現する力を育てていく必要があります。また、学力
の二極化は昨年同様顕著であり、リソースルーム等を活用した学び直しの機会の充実も大切です。みずか
自ら かんが ひやうげん しゅたいてき まな ちから はぐく がっこう かてい ち いき れんけい きさ
考え、表現し、主体的に学ぶ力を育てるよう、学校・家庭・地域が連携しながら支えていきたいと
かんが こんご りかい きやうりよく ねが
考えています。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

国語

分類	区分	大鳥中	全国
		平均正答率（％）	
全体		58	63.9
評価の観点	話すこと	56.5	63.9
	聞くこと		
	書くこと	61.4	67.4
	読むこと	50.4	59.7

数学

分類	区分	大鳥中	全国
		平均正答率（％）	
全体		54	57
評価の観点	知識・理解	60	63
	思考・判断・表現	36.6	39.1

英語

分類	区分	大鳥中	全国
		平均正答率（％）	
全体		57.1	52.8
評価の観点	聞くこと	65	60
	読むこと	54	50
	書くこと		



8月に行われた行事から

「中区横浜子ども会議」 8月28日(金) 立野小学校にて

「横浜子ども会議」は平成25年度から実施され、いじめを「しない」「させない」「見逃さない」安心できる社会を目指し、全市立学校の児童生徒がいじめ問題について主体的に考え、話し合いをする「いじめの未然防止」の取組です。

小学生から高校生までの児童生徒の代表者が区ごとに集まり、異学年でいじめそのものに向き合った話し合いを行うため、区交流会が開催されました。大鳥中学校からは2名の生徒会役員が出席し、活発な討議を行いました。

3年1組 伊藤 安寿さん

今回の横浜子ども会議では、小学生や地域の大人の方々も交えて「いじめの未然防止」について話し合いました。様々な立場からの意見を通して、この問題を多角的に捉えることができました。

特に印象に残ったのは「孤立させない」という考え方です。相手を理解し寄り添う姿勢がいじめ防止につながると感じました。今回得た多くの気づきを大鳥中学校の活動に生かし、全員が気持ちよく過ごせる学校づくりに努めていきます。

3年2組 影浦 康太さん

僕が横浜子ども会議に参加して良かったことは二つあります。一つは物事の捉え方です。今までは単一的な視点でしか問題を見ていませんでした。しかし、今回の議論を通して、周りの意見はもちろん、自分の中の考えの変化により、物事を多面的に捉えることができました。もう一つは、意見を言いやすい雰囲気づくりです。目線やうなずき、話した後内容をまとめるなどをしてサポートをすると、安心して発表できることを知りました。

今回の経験を生かし、学校内の意見交換をより活発にさせていきたいです。そして、一人ひとりがよりたくさんの人と交流できたらと思います。

